

1. 介木協が社会保障審議会に参画する意義

説明資料抜粋

- ・持続可能な介護保険制度の構築に向け、**極めて重要な審議の場である社会保障審議会（介護給付費分科会・介護保険部会）の委員として、当協会が参画させていただくことを要望いたします**
- ・審議の質を一層高め、より実態に即した制度改革の実現に貢献できるものと自負しております
- ・当協会が社会保障審議会に参画する意義などは以下のとおりです

(1) 高齢者住まいに関する議論の発展

- ・現在の委員構成は、「介護付きホーム（特定施設入居者生活介護）」を代表とする団体が不在
- ・有料老人ホームは利用者数約61万人、介護給付費約6,800億円（サービス別構成比6.08%）まで伸展
- ・**多様化する高齢者の「住まい」に関する政策の議論を、より実効性のあるものに発展させることに貢献いたします**

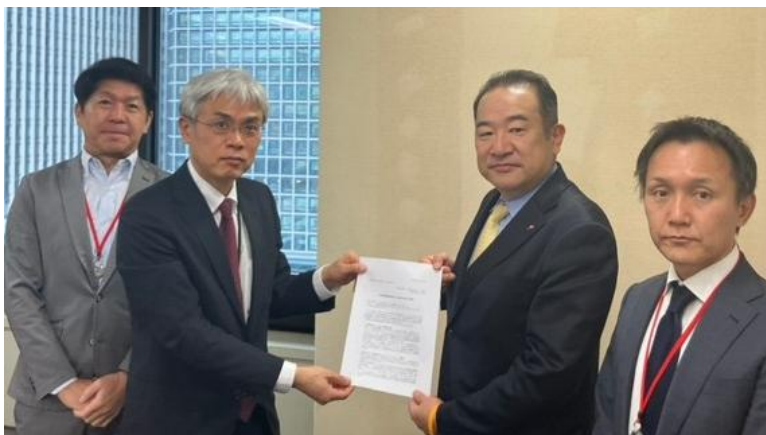
(2) 品質の伴った生産性向上のノウハウ・エビデンス提供

- ・深刻な介護人材不足への対応において、「品質を伴った生産性向上」の徹底は極めて重要なテーマ
- ・当協会の会員は、**テクノロジー・デジタル・データ・AI活用の最前線に立つ実証データと知見を有しており、これまで国の実証事業にエビデンスを提供し、人員配置基準の特例（3：0.9）の創設に貢献して参りました**
- ・今後も、**生産性向上と処遇改善の好循環モデルを提案し、建設的な政策提言を実施いたします**

(3) 社会課題解決に貢献する活動の推進

- ・**公益に資する活動を推進し、社会的責任を果たしながら、政策提言を実施いたします**
- ・介護の魅力発信について、技能五輪への参加や出張授業の講師派遣を開始しているほか、福祉避難所を提供するなど、国や自治体と連携し、社会課題解決に貢献する活動を積極的に行っています
- ・国の会議体への対応については、「介護分野の文書に係る負担軽減に関する専門委員会」や「有料老人ホームにおける望ましいサービス提供のあり方に関する検討会」、その他老健事業への参画実績がございます

以上



左から植村副代表理事、厚労省黒田老健局長、鷲見代表理事、秋山常任理事

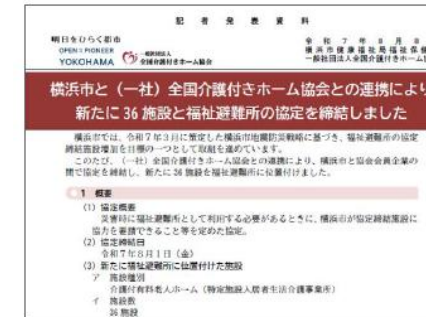
公益に資する活動の推進例

厚労省「介護の魅力発信事業」参画【出張授業】



- 【出張授業】
- ・11/27 埼玉県さいたま市立大谷小学校
 - ・11/28 愛知県安城市立安城中部小学校

横浜市と福祉避難所の提携



- ・8月に協定締結と報道記者発表を実施。
- ・新たに36施設を災害発生時の福祉避難所に登録。



(出典) 横浜市ホームページ

厚労省技能五輪全国大会（介護職種）参画



10/17～20に愛知県国際展示場で開催された大会に運営・選手派遣（ライブメディアア社小川氏）で参画